

早生樹から広がる 林業近未来展

近年、在来種を活用した早生樹植林が話題となっています。特に植栽後20年以内に伐採・利用可能な広葉樹センダンは、家具利用だけでなく高品質の合板や木質ボードなどの工業原料としても有望です。さらに増加を続ける荒廃農地は、センダンの植栽に適した条件の土壌であり、耕作放棄地の対策としても有望です。センダンなどの早生樹を活用した研究を紹介し、里と里山の未来像を考えたいと思います。また、センダンを活用した試作品の展示や、さまざまな樹種を使った木琴、カホンなどの楽器体験ができる展示も計画しています。



兵庫県中央市の荒廃地に植栽されたセンダン(3年生)

ポスター展示

センダン活用研究報告 荒廃農地での植林事例紹介
京都府立大学・京都大学の研究紹介

製品展示

センダン丸太 センダンを利用した製品
木琴 カホン (楽器)



センダンのボード類

期間：3月1日(金)～3月22日(金)

森林のギャラリー開館時間：平日9時～17時(休日閉館)

協力

京都府立大学 京都大学
兵庫県立森林林業技術センター
熊本県林業研究指導所



ギャラリーへのアクセス
JR桜ノ宮駅西出口から徒歩5分です

林野庁 近畿中国森林管理局 森林(もり)のギャラリー企画展
主催：(公社)日本木材加工技術協会関西支部 早生植林材研究会

